

事業者向け

児童発達支援自己評価表

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	改善目標、 工夫している点など
環境・ 体制整備	1	利用定員10名に対し、指導訓練室が40㎡以上確保できているか	9	2	0	無回答 1 必要最低限の物のみ指導訓練室内に置くようにしている。置いてあるものを取り除けば40㎡以上ある。
	2	職員の配置数は適切であるか（加算申請をしている場合は基準を満たしているか）	7	4	0	無回答 1 適切である。
	3	事業所の設備等についてバリアフリー化の配慮が適切になされているか	5	5	2	施設内の段差は、ほぼない
	4	設備等へ安全を配慮した措置がなされているか？（電灯やガラスの飛散防止・柱へ衝撃吸収材の取付など）	6	3	2	無回答 1 蛍光灯にカバーが付いている。ドアの下側の隙間に（指など挟み込み防止用）カバーが貼ってある。
業務改善	5	業務改善を進めるための目標設定と振り返りに、広く職員が参画しているか	5	7	0	今後、職員一人ひとりが1年の目標を立て、次年に反省することを予定しているので、これから達成できる。
	6	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意見を把握し、業務改善につなげているか	4	5	3	今回初めてアンケートを行ったので、今後は改善につなげられる。
	7	この自己評価の結果を事業所の会報やホームページ等で公開しているか	4	3	5	ホームページが更新されていない。知らない。（今後、更新していく予定なので、達成できる。）
	8	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	3	4	5	当放デイ外の人が時々評価に来る。フランチアイズ、本部の人が定期的にチェックに来る。
	9	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	9	3	0	度々研修を行っている。社員が中心に参加している。
適切な 支援の提供	10	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	7	5	0	児発管が、職員に聞き取りをしたり、年に1回の面談を通し保護者の意見を取り入れ、子どもや保護者のニーズに合った目標を考えている。
	11	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	4	6	2	「標準化されたアセスメントツール」が分からないので、おそらく使用していない。個人ファイルのフェイスシートと一緒にファイリングされている。
	12	活動プログラムの立案をチームで行っているか	7	4	1	正社員を中心に活動内容を話し合っている。
	13	活動プログラムが固定化しないように工夫しているか	8	3	1	月ごとに計画をたて、さまざまな活動を提供している
	14	平日、休日、長期休暇に応じて、課題を決め細やかに設定して支援しているか	7	4	1	最近荒れている子などには、注意を促している。細やかには設定されていないかもしれない。時期に応じて外出なども取り入れ設定している。
	15	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる個別支援計画を作成しているか	7	4	1	無理には集団活動に参加させず、状況に応じて対応している。
	16	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	4	5	3	毎日のスタッフミーティングの時間としては、設けられていないが、スタッフ同士連携をとるようにしている。
	17	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援を振り返り、気づいた点を共有しているか	4	5	3	送迎の関係や、退勤時間が異なるため、打ち合わせは行っていないが、申し送りノートを活用して共有している。
	18	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	10	2	0	日々、個別記録を記入している。
	19	定期的なモニタリングを行い、個別支援計画の見直しの必要性を判断しているか	5	5	2	今後は行っていくものとする。毎年1回、保護者との面談を行い、その際にモニタリングを行っている。
	20	安全に運動遊びができるよう用具の使用法や支援方法等に工夫や配慮をしているか？	8	4	0	鉄棒やマット運動時にスタッフが手を添えるなど支援しケガのないよう配慮している。運動療育の研修に参加している。
	21	お子さんの特性に合わせた支援方法を個々に工夫しているか？	8	4	0	子どもに合わせて支援の度合いを変えている。
22	ガイドラインの総則の基本活動を複数組合せて支援を行っているか	5	7	0	ガイドラインの総則がわからない。ガイドラインを閲覧できるようにした。	
23	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議に、その子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	2	9	1	相談支援事業所が付いていない方が多いため、サービス担当者会議があまり行われていない。ある場合は児発管が参画している。	
24	保育園・幼稚園との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか	7	5	0	送迎時に先生を通して情報共有している。送迎車用の携帯を使用し、トラブル時は連携を取っている。	

関係機関や保護者との連携	25	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか	4	7	1	現在、医療的ケア児はいないが、受け入れる場合は主治医等と連絡体制を整えている。
	26	与薬指示書の内容に変更等がないかなど、定期的に保護者へ確認をとっているか	5	6	1	薬がある場合には、その都度連絡帳で確認を取っている。
	27	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか				
	28	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか				
	29	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	7	5	0	研修がある場合には受講している。
	30	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会はあるか	2	7	3	公園などで会う機会はあるが一緒に活動することは行っていない。
	31	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか	2	6	4	参加できていなかったが、今後は積極的に参加していきたい。
	32	写真付の連絡帳を作成し、保護者へ活動の内容や様子を共有できているか	8	4	0	時折、写真を入れるようにしている。
	33	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	9	3	0	送迎の際などに情報共有に努めている。
	34	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	1	10	1	ペアレント・トレーニングは行っていないが、必要に応じて相談・助言していく。
保護者への説明責任等	35	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	8	4	0	今まで行えていなかったが、説明等の研修を行いたい。
	36	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	7	5	0	連絡帳や、送迎時に受けた相談に丁寧に応じている。
	37	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	1	6	5	父母の会は無いが、保護者会等を行って保護者等の連携支援を行いたい。
	38	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	6	5	1	きちんと対応するよう努めているが、迅速ではなかったことがあった。
	39	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	12	0	0	毎月、プラスだよりを発行している。
	40	個人情報に十分注意しているか	11	1	0	個人情報に注意している。
	41	HP等へ写真を掲載することについて、同意書等へサインをいただくなどして同意を得られているか	10	2	0	利用契約時に全員に同意書を記入してもらっている。
	42	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	10	2	0	絵やイラストの使用。ジャスターやスタッフの実演などで工夫している。
43	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	4	5	3	招待したことはないが、随時見学等は受け入れていきたい。	
非常時等の対応	44	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	4	7	1	個人的には把握できない。危機管理マニュアルとして閲覧できるようになっている。
	45	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	6	5	1	子ども達全員には行っていないが、年に2回避難訓練を行っている。
	46	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	7	5	0	毎月のスタッフ会議に取り組むようになった。
	47	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得たうえで、サービス計画に記載しているか	4	6	2	現在、身体拘束行っていないが、必要がある場合には説明し計画書に記入していく。
	48	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	5	5	2	保護者を通し、アレルギーの状況・情報共有している。
49	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	10	2	0	ヒヤリハットの記入をし、閲覧できるようになっている。	